言語とアイデンティティ
ろう者・日本手話　2週目

2014年10月31日

松尾　慎

日本の手話の種類

「日本手話」: 日本語と異なる独自の文法構造をもつ手話。手だけではなく身体も使われる。

「日本語対応手話（シムコム）」: 日本語の文法や語順に手話単語を当てはめた手話の一種。中途失聴者や難聴者などが、使用することが多い。手と指、さらに日本語音声の口の形が併用されることがある。手話教室などでは、これが教えられることが多い。

日本手話の特徴

- 親から子へ自然に継承される割合が少ない
  ろう児の親の90%以上が聴者
  →ろう者の集団の中にいなければ自然獲得できない

- 文字を持たない言語

ろう者の種類

１．生まれながら、聴覚がほとんどない人

２．中途失聴者

「ろう者」ということば

聾唖者
↓
聴覚障害者
↓
ろう者

１）唖者＝話せない人　→　話せないのではなく、
　日本手話を話す人　→　だから、「あ」は不要！
２）「障害者」ではない　→　日本手話を話す人

友だちからの相談

- 友だち夫婦に子どもが生まれました。1歳になろうとしたときに、先天性のろう者であることがわかりました。友だち夫婦はともに聴者で、ろう者や手話に対する知識はありません。そこで、少しこうした問題を知っているあなたに相談してきました。
- 相談の趣旨は、「日本手話をベースに教育を受けさせるか、普通の公立学校に入れて、口話で頑張らせるか、どちらがいいと思うか」というものです。

現状

- 授業のすべてを日本手話で教える学校・・・明晴学園（品川区）のみ（明晴学園は小中学部）
- ろう学校・・・基本的には口話法で教えられる。
- 一般の公立学校・・・ろう児に対する配慮は一般的にない。

ろう者に対する教育

１．口話主義教育

　相手の話を唇の形から読み取らせる。そして、聞こえない音を発語させる。この教育の元では原則的に手話は禁止されるか認められない。

ろう者に対する教育

２．日本手話による教育

　幼稚園、小学校の段階から手話による教育を行う。読み書きに関しては第2言語として日本語を習う。

ろう者に対する教育

３．シムコムによる教育

　幼稚園、小学校の段階からシムコムによる教育を行う。読み書きに関しては第2言語として日本語を習う。

ろう学校における教育言語

19世紀半ば　口話主義の学校がアメリカで始めて設立（それまでは、手話が認められていた）

1880年　世界ろう教育者会議（ミラノ会議）

「口話が手話よりも優れていることは議論の余地がない」という決議

→　世界の流れとなる

ろう学校における教育言語

日本

1933年　鳩山文部大臣「口話を支持する訓示」

→ろう学校が口話主義へと転換

現在　　中学生以上の生徒に対しては手話の使用を容認する傾向

→教師の大半は手話が話せない

「正しい手話＝シムコム」という発想

ろう文化宣言

「ろう者とは、日本手話という、日本語とは異なる言語を話す、言語的少数者である」

（木村晴美・市田泰弘　1995年）

「ろう者」＝「障害者」という視点から、
「ろう者」＝「言語的少数者」という視点への転換

ろう教育で何が行われてきたか

1880年　ミラノ会議

1960年代　米国

　トータル・コミュニケーション

　　人工的な手話システムの使用（SEEI,SEEII等)

　　⇒不十分な結果

1980年代　北欧・米国

　　バイリンガルろう教育

　　（手話と書記言語）

日本の例

- 2006年12月の元北海道小樽聾学校長による新聞投稿

  「手話を使わせないために両手を縛って教えたことがある。」

・手話を使うと言語が入らなくなるという考え方

　　虐待か方法論の違いか

異なる文化を持つ人々　or　障害者　？

- ろう者　　vs　聴覚障害者
- 文化的視点　　vs　医学的視点
- 独自の言語と文化　vs　聴覚に障害がある

手話＝治療が必要？？

ろう文化→（根絶が最終目的？）

11月14日の授業の課題

- 第一週目に予告しましたが、今週（第6週目）を終わったところで課題を課します。

11月14日の授業の課題

- 課題：わたしと「言語とアイデンティティ」
- 字数：1000字から1200字程度
- ワープロ打ちでも手書きでも可
- 提出日：11月14日の授業の際（病欠の場合、できる限り迅速に連絡してください）

- 成績評価の対象となります。
- 遅れて提出した場合には公平性の観点から減点します。